



第7回産業技術大学院大学デザインコンテスト受賞者決定

— 「きざし」をテーマに、未来のデザイナー108人が、国内外から挑戦—

産業技術大学院大学（品川区、学長：石島 辰太郎）は、「感性と機能を融合した創造的なものづくり」への理解を深め、未来のデザインプロフェッショナルを発掘・育成することを目的として、新製品やサービスの開発につながるデザインコンテストを実施しました。

今回は、創設以来第7回目のコンテストで、海外からの応募3点も含め、合計108点の応募があり、以下のとおり最優秀賞1点、佳作3点を決定しました。

なお、表彰式は、2月11日（火・祝）に東京国際フォーラムで実施します。

公募テーマ、受賞者及び作品名（※受賞作品詳細、受賞理由は別紙を参照ください。）

■ 公募テーマ

「きざし」

何かが起こりそうな気配を感じさせることや、これから起こることを予感させることは、未来を創るデザインの大事な役割です。この動きに着目して「きざし」のデザインの可能性を提案してください。

■ 受賞者及び作品名

◆ 最優秀賞 [副賞 30万円]

- 村野 朱苑（札幌市立大学 2年）
作品名『**みるみるえがお -笑顔になれる鏡-**』

◆ 佳 作 [副賞 5万円]

- 川村 悠可（東京工業大学大学院 修士1年）
作品名『**DOKO light**』
- Clarissa Olivia / Dhiya Teja M. / Giofanny Chintia R.
(Bandung Institute of Technology, Indonesia)
作品名『**SMART FOODIE**』
- 瀧山 愛 / 渡邊 理恵（千葉大学大学院 修士1年）
作品名『**HIDAMARI SHADE**』

第7回デザインコンテスト表彰式

【開催日時】 平成26年2月11日（火・祝） 15時10分～15時30分

【開催場所】 東京国際フォーラム ホールB5（千代田区丸の内3-5-1）

※当日は、「2014 AIIT PBL プロジェクト成果発表会」を同時開催。

※取材を希望される場合には、2月7日（金）までに「問合せ先」へご連絡ください。

【問合せ先】 産業技術大学院大学 管理部管理課

電話 03-3472-7832 Fax 03-3472-2790

○最優秀賞 村野 朱苑 [むらの しおん] (札幌市立大学2年)

作品名「みるみるえがお -笑顔になれる鏡-」


人の顔の表情を認識し、無表情だとうまく写らないが、笑顔を向けるとはっきり写るようになる鏡。

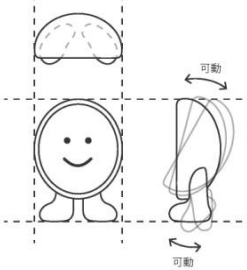
みるみるえがお 😊

- 笑顔になれる鏡 -

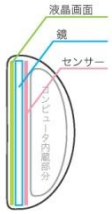
Concept

「みるみるえがお」は見る人を笑顔にさせてくれる鏡です。みなさんはちゃんと毎日笑えているでしょうか？笑うことは気分を明るくするだけでなく、身体の健康にも良い影響を与えるとされています。悲しい時や辛い時、疲れてしまった時にこそ、この「みるみるえがお」を使って笑顔のチェックをしてみてください。朝のわずかな時間でも毎日続けることで自然と笑顔が身につき、生き方や考え方も前向きに変わっていきます。笑顔で過ごすことによって明るい未来の光も見えてくるのではないのでしょうか。







可動




液晶画面
鏡
センサー




足部分は収納可能



無表情で鏡を見ると
ほとんど顔が見えません



しかし笑顔を向けると…?



顔がはっきりと
見えるようになります！
(無表情のまま数十秒経つと
再び鏡面が暗くなります。)

【受賞理由】

顔の表情の違いを認識できるインタラクティブな鏡は、笑顔でいることが慣行となることを、また明るく楽しく生活することを推奨している。くもりが晴れることで、幸運へのきざしを暗示しており、デザインに求められる健全性をストレートに表現した発想を高く評価し最優秀賞とした。

作品名 「DOKO light」

携帯電話のGPS 機能を利用し、家族が家に近づいてくると徐々に明るくなる照明。

DOKO light

～ライトが灯す、家族の環～



CONCEPT

共働き世帯の増加・子供の学習塾などにより、家族の生活リズムは過去と大きく変わってしまった。これは、ばらばらの時を生きる家族が、どこにいるのだろうかという不安を払拭するための照明である。

about DOKO light

ライトの1つ1つは家族の携帯電話のGPSと連動している。誰かが帰宅して家の電気の主電源を入れると、在宅中の人のランプは光度MAXで光る。また、外出中の家族のGPSと連動しているライトは、会社～家、塾～家への接近状況によって、光度0の状態から徐々に明るくなる。よって、それぞれの場所で過ごす家族に、申し訳なく思いながら、メールや電話などで所在地の確認を入れなくて済む。

家族全員のライトが灯ると、あたたかな夕食をはじめような、幸せに満ちた使い方が想定される。これは、家族の気配や団欒のきざしが感じられる、「あたたかな家族の環」の象徴である。



9:00

全員外出後、自動的にライトは消灯する



18:00

子供が習い事から帰宅。母親と姉がもうじき帰宅することがわかる



20:00

父親が帰宅。姉は少し寄り道して遅くなったようだ。みんな揃ったところで、あたたかな食卓をはじめよう。

【受賞理由】

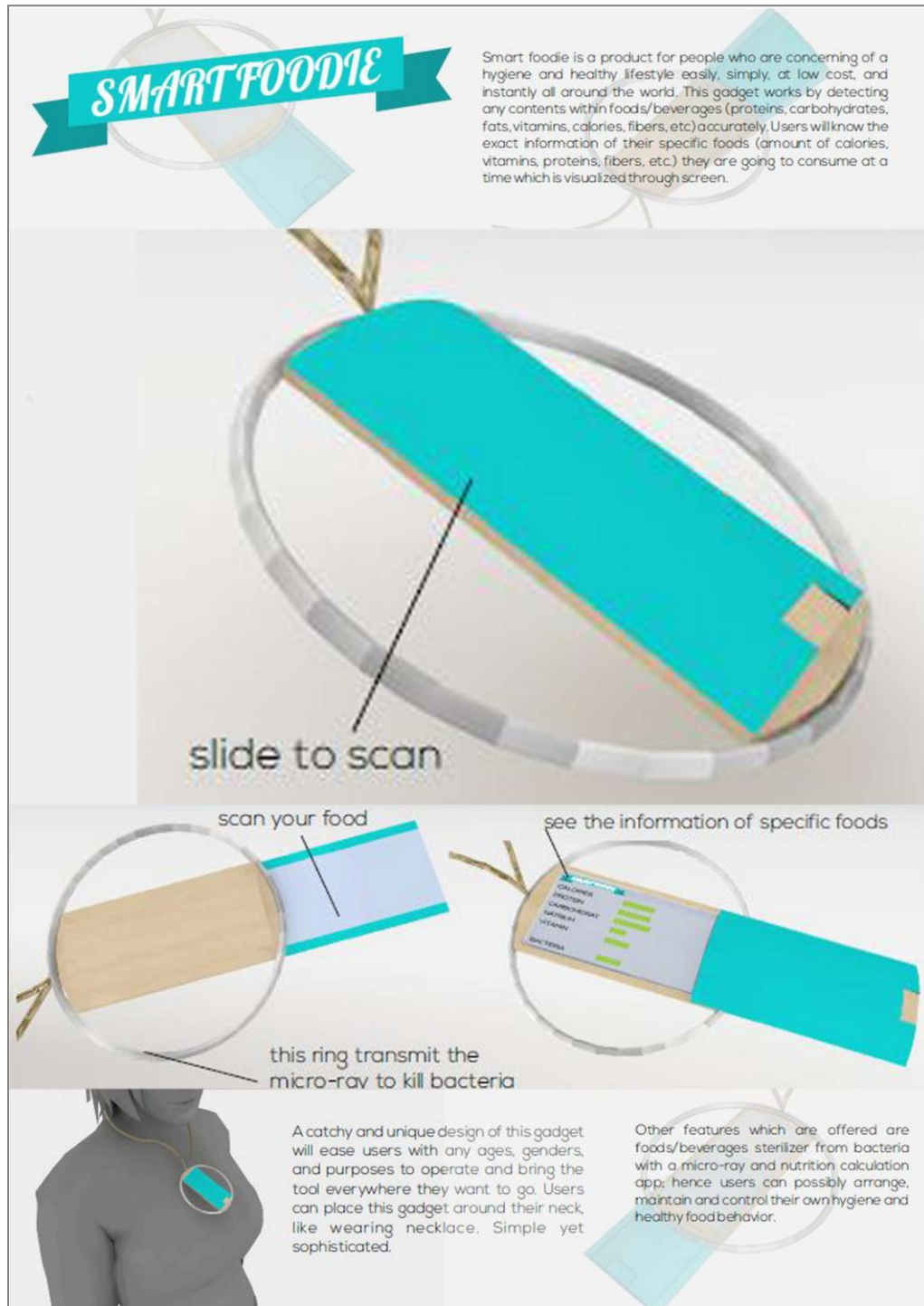
一般化してきた高度なセンシング技術を利用して、外出中の家族の気配や暖かな団らんの様子を暗示している。

つながりを視覚化することに挑戦したデザイン発想を評価した。

○佳作 2 Clarissa Olivia / Dhiya Teja M., / Giofanny Chintia R.
(Bandung Institute of Technology, Indonesia)

作品名 「SMART FOODIE」

食品のカロリー、ビタミン、ファイバーや脂質などの総量を計測して表示するネックレス型の電子機器。



【受賞理由】

技術的な課題もあり、実現には時間を要するが、飽食で生活習慣病などの健康問題を抱える現代に必要な製品である。

スローライフや自然志向へ向かうこれからの食のきざしをコンセプトにした発想と今後の可能性を評価した。

作品名 「HIDAMARI SHADE」


季節による日の出の時間の変化に対応して、部屋に朝の光を届けるブラインド。

朝のきざし
朝日を感じるブラインド
HIDAMARI SHADE

人工的な室内で生活する私たちは、朝のきざしを感じて自然に目覚めることが出来ません。HIDAMARI SHADE は朝の光を受けて羽の向きを変え、自然に開くブラインドです。木漏れ日のような光を作り出すことであなたを自然な目覚めへと導きます。

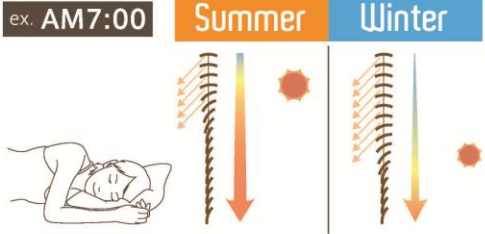
1 朝日を受けて徐々に羽が開き、心地良い目覚めを促す

2 季節による日の出時間のズレに対応



それぞれの羽についたソーラーパネルが朝日を蓄積し、一定の光量が溜まると開く仕組みになっています。上の羽ほど必要な光量が小さく設定されているため上から徐々に開いていきます。

ex. AM7:00 Summer Winter



電源
押す度にモードが切り替わる
on > summer
> spring & autumn
> winter > off

スーパーボール式
電源 off 時には手で羽の向きを調節可能

【受賞理由】

日の出を感知して羽の向きを変え、朝日を部屋に届けるブラインドは、自然と共生するライフスタイルを誘導する。

人為的な工夫ではなく、自然が持つ朝のきざしで目覚めを促すという視点からのデザイン発想を評価した。